

令和7年度 第4回 旭川市GX懇談会 会議録

日 時	令和8年1月28日（水） 午後2時00分～午後3時00分	
場 所	旭川市総合庁舎7階 大会議室A（旭川市7条通9丁目）	
出席者	参加者	7名 大沼氏（古川氏代理）、加藤氏、近藤氏、須田氏、寺島氏、二俣氏（阿彦氏代理）、三本氏
	説明者	2名 株式会社 建設技術研究所（齋藤氏、五十嵐氏）
	事務局	4名 環境部（安富ゼロカーボンシティ担当課長、坂田主査、齋藤、矢吹）
会議の公開・ 非公開の別	公開	
傍聴者	なし	
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 報告・説明 ゾーニングマップ素案等について 3 意見交換等 4 その他 5 閉会 	
会議資料	<配付資料> ・資料1 旭川市GX懇談会開催要綱 ・資料2 旭川市GX懇談会参加者名簿 ・資料3 旭川市GX懇談会座席表 ・資料4 ゾーニングマップ素案	

		<ul style="list-style-type: none"> ・資料５－１ ガイドライン素案（概要版） ・資料５－２ ガイドライン素案 ・資料６ 調査結果報告
議事内容等	発言者	発言の要旨
1 開会	事務局	
2 報告・説明	説明者	（資料４、資料５、資料６により説明）
3 意見交換等	進行役	報告について質問等はあるか。
	進行役	資料６の調査結果報告書 P 17に記載がある10D×3Dの配置は、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（通称「NEDO」（ネド（New Energy and Industrial Technology Development Organization））発行の風力発電導入ガイドブックによると効果的という意味か。
	説明者	そのとおり。少なくともこれくらいの間隔を空けた方が良いとされている。土地の状況等により、事業によってはこのとおりにならない可能性もあるが、隣り合う風車同士の発電効率を考えると、これくらいの間隔を空けた方が良いとされている。
	進行役	10D×3Dの間隔で想定した場合、ゾーニングマップ素案における促進検討エリア内に最大で風車を52基設置できるということか。
	説明者	そのとおり。
	参加者	地域合意を得る場合における地域住民の範囲は、どのように決めるのか。
	事務局	経済産業省のガイドライン等に従い、範囲を決定する。ただし、事業計画の内容により周囲への影響が大きいと考えられる場合には、範囲を広げる。
	参加者	太陽光と風力では範囲が異なると想定されるが、その旨配慮するとの理解で良いか。
事務局	そのとおり。	

参加者	淡水魚の調査を冬に実施したのはなぜか。冬季は魚によっては活動しない。
進行役	冬季であっても、DNA調査により、生息状況等を十分に把握できるのか。
説明者	第2回懇談会時のご意見を受け、急遽実施したことから、冬季の実施となった。水田の代掻期は他の川から水を引いてくるなど混入物が入るおそれがあり、調査に不適とされているが、冬季は魚の活性は落ちるものの、不適とはされていない。
参加者	河川生物は時期によって変化があるので、冬季以外にも調査を実施すべきと考える。
事務局	事業の実施に当たっては、ガイドライン等に基づき、事業者に対し、冬季以外での調査を十分に行うよう求めていく。
参加者	突哨山から春光台公園にかけての緑の連続性は重要と認識している。今回の現地調査に春光台公園がなく、入れていただきたい。春光台公園には貴重な動植物が生息しており、ご検討いただきたい。また、景観の眺望点にサンタプレゼントパークが入っていないのはなぜか。
説明者	景観の眺望点は、「みどりの基本計画」、「景観計画」に基づいて選定した。
参加者	サンタプレゼントパークからの眺望も評価されていることから、主要な眺望点と考え、加えていただきたい。
説明者	春光台も、上川盆地周辺の丘陵地の一つとして、重要な自然環境と認識している。ガイドライン等に基づき、事業者に対し、このような眺望点もある旨を示して、景観調査を求めていく。
参加者	資料5-1や資料5-2では、発電規模が10キロワット以上の設備にガイドラインを適用するとあるが、10キロワット未満の設備はどのようなものか。
説明者	太陽光では家庭用となる。風力も街路灯に付随するような小さ

	参加者	いものである。
	事務局	<p>期間の経過により、状況が変化する。変化を踏まえ、ガイドライン等の見直しを行う予定はあるか。</p> <p>ゾーニングマップやガイドラインは、状況の変化を踏まえ、適宜見直しを行う。資料5-1や資料5-2でお示したガイドラインの素案は、今後、明らかになるであろう国のメガソーラーの対策パッケージの内容を踏まえ、修正等を行う。</p>
4 その他	進行役	その他について参加者から何かあるか。
	参加者	懇談会資料の事前配付に努めていただきたい。
	事務局	承知した。今後、努めていく。
	進行役	事務局から何かあるか。
	事務局	今年度の懇談会は、今回で終了となる。今回の懇談会をもって、ゾーニングマップを素案として取りまとめ、次年度、関係する皆様への説明等を行い、最終的にはパブリックコメントを経て、確定する。次年度も、ご協力をお願いしたい。
5 閉会	事務局	